

疑問ナリ

法人 諸会議

横濱造船所　商標社、横濱兩社に比ヒ、經營者又は
困難ナルコト、何人も想像スニ所ニシテ職工・於テ、何時事業縮小職
工解雇、ニアリヤエ知レズト當ニ、不妥ノ念察ナレバ横濱造船所ノ公社
職工、而能事アルヤ道ニ共鳴シテ、要求書ヲ提出セリ但ニ又要求一事次
解雇率も一增加及強制権與ニナシ重カントスル主トシ増加論
其從々マニ、斯ニ由來南社、職工實收復金、横濱造船所兩社ニ比シ
直ニ、多額の改増給、要求也極ニ低落。在リニ日詰或四以下毫メ
立チ、是より上ニ改増給一四四千萬円、全部一四四千萬円引上シ
要求ヲ至ヌケヌベ會社、横濱製鋼會社、造船團體ノ要化シ見テ
要求ニ全然拒否ス、不得済ナル。博給、要求モ太シタモニアラザレ
政之ヲ許すセシ又タ解雇手續、要求前回ニ共イリシガ並列ア博

加々ニコトヲ勝約セシ

(四) 増給実施、三會社財政上、景況

横濱船渠會社、十一年上期支莫、利益金五百六十万円(株主配当金)
辛一割五分)、對ニテ今固増給、推算額約拾万円、皆見ヒテ、又
影響大ナル如キも當社上期、決算ノルモノ、同業者、多大
之問題抱カレ現在、一時半状態ヨリ概括的、見ハ利益金廿拾万円未
度ナム故、視うレバ、アリ此是地ヨリスレバ博給額約拾万円スハ
會社財政上、及出ヌ事無勘カラシ可
浦賀船渠會社、八月、博給ヲ職工、工程増進、ヨリテ之ヲ補ハントス
ニ、希望其効ヲ度セバ増給、會社、並其利益ニハ累テ及ホナジル豫
定ナリト、會社當面者、前明セニヤ更実績、期待ノ全フシウナ